



## 【はじめに】

金門は福建省南部の沿海上に位置する小さな島ですが、独特な地理的位置と歴史を持っています。まだ未開拓の唐朝時代から、文教政策の敷かれた宋朝時代、文治の朝時代、そして多くの軍事的功績を残した清朝時代まで、金門は文官の都、武将、歴史の跡は絶えることなく、中国の歴史において極めて重要な特徴的な位置を占めています。

十九世紀末、多くの島民が東南アジアへ移り住み、金門は閩南（福建省南部・広東省潮州など）の地域への華南の故郷となりました。一方、國內戦、台湾と大陸との対立により、金門は、閩南、戦地、華僑の故郷、という二つの特色を併せ持つ、様々な文化の溢れる島となりました。

二十世紀の初頭、金門は多くの島が開放されたことで、これから金門は観光において更に発展していくでしょう。この「金門行ガーデン」は、金門を訪れる観光客の皆さんに、こわばかな時間で、金門の風土、文化の背景、自然生態などをご紹介し、金門をより知りたいために書かれています。

## 【前言】

金門雖只是閩南沿海一座小島，却具有其獨特的地理位置和歷史淵源。唐麌草莽、宋敷教化、明朝文治、清肅武功，文官武將，史冊不絕，在中國歷史的關鍵時刻，更屢屢突顯其重要的地位。

十九世紀末，金門居民大量移徙東南亞，成了閩南裔鄉之一，國內戰、兩岸對峙，使金門成了前線戰地。這些特殊的歷史因素，使今日的金門，成為集閩南、戰地和僑鄉三種特色於一身的文化體。

二十一世紀之初，金廈開放啟航，讓金門未來，呈現觀光願景的契機，這份「金門旅遊簡介」，正是提供外遊客在短暫時間內，能針對金門的風土民情、文化背景和自然生態，提供一份充分而正確的認識與瞭解。

## 【三、文化的景觀】

閩南の住人はすべて中国大陆中央部からの移民の子孫であり、その言語、信仰、民間習俗、祭神などにおいて、漢民族の特色や制度を保持しています。現在の金門の伝統的な民間住宅や、「風獘」（獘神を形いた神）の信仰、祖先を祀る廟や巡行行事など、みな閩南文化の特色を持っています。

### ◎ 旧式の家屋

金門の伝統的な古式家屋は、屋根のむねの形から見ると、燕尾式の「翫脊」（えみをせき）が背式の「圓脊」（えんじき）を抱くように、建築構造から見ると、一落、二落、三落（落とはほほんに相当と呼ばれる方式や、「護龍」（屋根の上に更に屋根を付けるような構造）、「突梁」（入り口から引ひき込み間物を突き出す構造）、「迴廊」（二方向に向いた合った構造）などがあります。さらに、家庭に施された土塗、彩色、レリーフ等、伝統的な美しさを一番引き立てています。

### ◎ 風獘爺（獘の形の風神）

金門はかつて盗賊や難民などの危害により島の森林がほとんどなくなったり、冬でも強勁な東北風にさらされ、田畠は荒れ果て、家屋は崩壊し、人々は安安心して生活することができませんでした。そこで風獘爺の力で難民や獘の子で弱らな人々を守るために、金門の民間の守護神と称えられています。

### ◎ 宗廟の行事

廟と祖先の祀りは、金門の宗教信仰の具体的な現れです。廟は金門では「宮」、「廟」、「祠」等と呼ばれ、それそれの廟は異なる定期的に神を迎えたり感謝したりする祭りがあります。中でも農曆4月12日の「迎城隍」は最も大きく、また3月23日の媽祖誕生日は、金門では「祖母廟」と呼ばれる、祖先を祀った建物で、金門の伝統的な廟宇には必ず一つ以上の宗廟があります。

### ◎ 古跡

金門は台湾本島や、他の島嶼と比較して、明朝、清朝の時代に文武方に功績ある名士たちが残した史蹟は、金門全島に散らばっています。廟や伝統的な民間住宅、古跡、墓碑など、現在の保護に指定されている古跡は33箇所あります。その数は台湾および閩南地区でもわずかの差で台北、台南市市に次ぐ大きさです。

金門は台湾本島や、他の島嶼と比較して、明朝、清朝の時代に文武方に功績ある名士たちが残した史蹟は、金門全島に散らばっています。廟や伝統的な民間住宅、古跡、墓碑など、現在の保護に指定されている古跡は33箇所あります。その数は台湾および閴南地区でもわずかの差で台北、台南市市に次ぐ大きさです。

金門は台湾本島や、他の島嶼と比較して、明朝、清朝の時代に文武方に功績ある名士たちが残した史蹟は、金門全島に散らばっています。廟や伝統的な民間住宅、古跡、墓碑など、現在の保護に指定されている古跡は33箇所あります。その数は台湾および

